

放送人の会

No. 37
2008. 8. 22

〒102-0094 千代田区紀尾井町1-1 千代田放送会館 3階

Tel&fax 03-3221-0019 Mail info@hosojin.com

代表幹事 大山勝美 編集担当 伊藤雅浩、松尾羊一

第8回日韓中テレビ制作者フォーラムIN福岡

期間 2008年9月24

日(水)〜27日(土)

会場 アクロス福岡(国際会

議場、会議室、ほか)

宿舎 西鉄イン福岡

参加者 韓国、中国 各35

人 日本50人

参加作品 ジャンルを問わ

ず 各国3作品

テーマにそった作品 各

国1作品

主催団体 日韓中テレビ

制作者フォーラム組織委

員会(日本)放送人の会、

放送番組センター、放送批

評懇談会(韓国)韓国放

送プロデューサー連合会、

韓国放送人会(中国)中

国電視芸術家協会

後援 総務省、外務省、経済

産業省、文化庁ほか

協賛 日本民間放送連盟、

日本放送協会、国際協力基

金、放送文化基金、日本自

転車振興会 ほか

協力 在京在阪各局、福岡市

【シンポジウム】

若者たちの今

各国のテレビ制作者たち

は、自国の若者たちをどの

ようにとらえているのか。

また、若者をテーマに、3

カ国はどのように共同制

作をしたのか。その視点か

ら今後の共同制作のカタ

チをさぐる。

(主旨)

グローバル化の波がとどまることも

なさそうなこの時代、3カ国にとつても

社会の動きや人々の生活、考えには、こ

れまで見られ、語られてきた差異よりも

共通した世界(情況)が増えてきたよう

にも見える。経済発展とともに現れた、

環境や格差、食糧・・・といった問題に

もそれは見えるようだ。それに敏感な

のが、いや巻き込まれているのが若者か

もしれない。自分たちの今と未来が直接

かわっているからだろう。その若者が

それぞれの国の将来を受け持つ。

メディアの世界でも3カ国の若者に

は共通の動きがありそうだ。いわずと知

れたケータイとインターネットの広が

りの主役は若者だ。多様化なのか、2極

化なのか：彼らは家族と、仲間と、社会

と、どのように関わり、そして一人の人

間としてどのように生きているのか。

テレビはこの時代の若者の姿をどの

ように捉えているのかを入り口に、3カ

国の若者を核にした作品の制作者に識

者を交えて討議を進める。そして、3カ

国が、それぞれの社会や人間を見つめ描

く方法としての共同制作への道も探っ

ていく。

コーディネーター

今野勉(放送人の会代表幹事・演出家)

パネリスト (予定)

番組制作者(日本、韓国、中国)

鈴木謙介(社会学者、ラジオパーソナ

リティー)現代社会やメディア、若

者の行動について研究、ラジオ番組

を通じて若者の生の姿にも詳しい。

鄭秀雄(テレビドキュメンタリスト

日韓中フォーラム常任委員長)3カ

国での取材や作品が多く、それぞれ

の国の状況に詳しい。

特別パネリスト・・・(予定)

濱田俊彦(TV西日本P)

Lee Ho Yae(韓国釜山TVP)若者を

テーマに、日韓中で共同制作作品を

制作

ほかに中国、韓国から、当該作品とは

別に若者について語れる(または番組

を制作した)人も参加する可能性あり。

(構成)

①作品視聴

②共同制作作品視聴

③シンポジウムの概要(ポイント)

1、作品で描かれた、各国の若者の姿

視聴した3作品について、それぞれの制

作者から、制作意図や若者への見方や、

現状についての意見とパネリストの討

議(共通項があるのか、各国の違いは大

さいのか・・・)

2、3カ国の若者の現在

現在の日本の若者を取り巻く状況、環境

について、鈴木氏を中心に説明。各国の

状況に話を広げる。

3、共同制作を考える

「若者」について共同制作をしたプロデ

ューサーから制作の経緯やその過程の

説明と、これから先の共同制作へ向けて

の討議。若者とこれからのテレビに話

は広がるかもしれない。

4、会場からの意見や、質疑もあり。

【日本からの参加作品】

ドラマ

NHKスペシャル・ドラマ「感染爆発」

パンデミック・フルー」

H5N1(鳥インフルエンザ)蔓延を

ろしさと地球規模的対策を呼びかける。

ハケンの品格

日本テレビ・樋山裕子

有能な女性派遣社員の活躍ぶりを通して格差社会である職場の現実を批判、風刺したコメディ・ドラマ。

その先のこと

今野 勉

中国生まれの中国人が、日本に住んだり、在日韓国人の若者が本名で日本に帰化して、北京オリンピックのサッカー日本代表になったりと、日中、日韓の交流は、このところ広がり深さを増している。

放送界における日韓中の交流は、あるレベルに達したあとのその先が不透明で何やら壁のようなものにぶつかっている、と感じているのは、私だけであろうか。

日韓中テレビ制作者フォーラムは、お互いの作品を通しての制作者同士の交流を目指したのだが、交流とは、もちろん、お互いの国の情報交換のその先の、制作者個人の本音の議論を期してのことである。

そしてさらにその先に、いつもお互いの夢として語られてきたことだが、共同制作がある。おそらく今度のフォーラムでも、その夢が語られるであろう。

しかし、これまで私たちが確認できたことは、夢はひとつだがそれを阻むさまざまな障害がお互いの中にあるということだ。その障害とは何なのか、それは

ドキュメンタリー

どーんと鹿児島「やねだん」人口300、ボーナスが出る集落」

南日本放送・山縣由美子

過疎に苦しむ農村を行政に頼らず自力で見事に活性化させた奮闘物語。NHKスペシャル「夫婦で挑んだ白夜の

大岩壁」(参考作品)

NHK・山本 篤

バラエティ

学校へ行こう!MAX(参考作品)

TBS・樺本憲勝

【若者】

ドラマ・ラスト・フレンズ (参考作品)

なぜあるのか、それを取り除いて未来を開くにはどうしたらいいのか。そろそろ、夢の実現のためにリアルな議論が必要な時期である。

そして、共同制作を「夢」とすることの意味も、冷静に考えることが必要だろうと私は思っている。

期待の大会

大山 勝美

「福岡」は日韓中テレビ制作者フォーラムの発生の地です。サッカーのワールドカップ共同開催を機に、文字通り「近くて近い国」と願って、木村栄文、鄭秀雄プロデューサーたちが福岡で小人数の会合を持ったのはじまりでした。

今回の福岡大会の特徴は二つあると思います。ひとつは、本格的な番組のクオリティ・コンテスト。3カ国とも昨年度の代表的番組12作品を持ち寄るからです。各国の表現レベルにまったく差はなくなりまし。

もうひとつは、大会のテーマを「若もの」にしぼったこと。韓国は、アメリカ産牛肉の輸入再開で、反対の国民運動が盛り上がっている。きっかけをつくったのは10代の高校生たちのキャンドルデモ。インターネットで呼びかけた若もの

が核になったと言われている。学歴社会の中で、行動する若ものたちを生んだ背景は何なのか。

中国の一人っ子は1億人を超えた。教育の「三六九問題」はどうなったのか。全体の3割が就学せず、6割が小学校で脱落し、9割が上級校へは落ちこぼれると言われていたが、オリンピック後、格差社会、人権、民族問題に若ものはどう向き合おうとするのか。

日本も格差社会化は進み、若ものの「誰でもよかった」無差別殺傷事件は後を絶たない。若ものを扱い、語ることは「未来と対話する」ことです。充実した内容が期待される大会。ご参加を是非お待ちしております。

フォーラムへの期待

村上 雅通

「君たちは、一体、何をやっているんだ。」志賀信夫さんのカミナリが落ちたのは、歴史認識をテーマにした第一回目の日韓シンポジウムの直後でした。

両国のテレビ制作者の相互理解と共同制作の可能性を見出すというフォーラム設立の趣旨から、論議の内容が、あまりにもかけ離れていたからです。あれから7年、8回目を迎えたフォーラ

フジテレビ・中野利勝

韓国・中国側の出品作品の詳細は現段階では押さえておりません。具体的な出品ラインアップが出揃ったところで発表します。詳しくは事務局へお問い合わせください

ムはカミナリの現場となった福岡に戻ってきました。

3回目の九州島からは中国が加わり、その規模は膨らみましたが、当初の目的は半分も果たしたとは言えません。

今回は、各国からの6作品に加えて、福岡在住の木村栄文氏作「鳳仙花」が上映されます。日本のテレビドキュメンタリーの先駆者でもある木村氏は、長年、日韓の間に横たわる歴史を背景に、様々な人生を描いてきました。

その中から、浮かび上がってくるのは、あまりにも愛おしい人間の情念だったような気がします。「木村作品」のファンを自認する私には、木村作品には国境を越えたテレビの普遍性が感じられます。現在、闘病中の木村さんですが、会場に足を運んでくださりそうです。もしかしら、木村作品によってフォーラムの道筋が見えてくるのではないだろうか。九州在住実働部隊は、そんな期待感を抱きながら準備を進めています。

福岡では、9月、「アジアアムス」と銘打った様々なイベントが実施されます。日韓テレビ制作者フォーラムも、そのイベントの一つに認定されました。

太古の昔から東アジアの玄関口だった福岡の地で、花を咲かせたいものです。

会員の皆さんの

フォーラム参加について

一時中国のフォーラム参加は、四川大地震の対応に巨費を要するため、公費による出張を自粛しなければならぬという情報が入っていました。しかし最近、何とか参加者の来日のメドがたったという連絡があり、当初の予定通りフォーラムが実施できることになりました。参加作品に関する中国の資料は、オリシピック終了後直ちに送られてくる予定ですが、現在日本と韓国を主に翻訳した字幕つき作品づくりや、プログラムづくりの作業が始まっています。

三年に一回日本で開かれる日韓中テレビ制作者の貴重な交流の場であり、今回は、参加者全員による投票を参考にしながら作品の選定を行うという、新しい試みなども予定されています。お時間の許す会員の皆さんには、ぜひご参加をお願いします。

但し、福岡までの旅費や宿泊費などについては、原則参加者の自己負担です。東京→福岡の航空券代の定価は片道3万9千円ですが、いろんな割引があり、半額以下で買えることもあります。旅行代理店やインターネットを上手にご利用ください。宿泊先も各人のご自由ですが、ご希望がある場合は事務局で手配したいと考えています。これらの経費については、後ほど事務局から多少の補助が出せないものか、只今検討中です。

参加を希望される方は、9月1日(月)までに、出席する日程、宿泊先の手配の必要の有無などについて、事務局までご連絡下さい。(長沼)

第20回 名作の舞台裏

「ハゲタカ」(NHK)

日時・6月22日(日)午後1時半～

場所・横浜情文ホール

ゲスト・大森南朋、宇崎竜童(出演)、

訓覇 圭(制作)、大友啓史(演出)

司会・荻野慶人(放送人の会)

バルク・セール(再建のたき売り)プロキシ・フアイト(株主委任状争奪戦)TBO(株式公開買い付け)EBO(エンプロイ・バイアウト)被雇用者側の企業買収)など経済用語が飛び交う「経済ドラマ」がヒート・アップした。鷲津政彦役の大森南朋人気もあるが、斬新な映像表現、異色な音楽と効果と同時代観的演出、それらが発酵した壮大な物語性に魅せられた人々が会場を埋め尽くしていた…



大友啓史氏

訓覇 圭氏

ゲストの大森、宇崎が一樣に驚いた。「数台のハンディーカメラを駆使して撮る、どこが使われるかわからない、そのドキュメンタリーな手法だった」という。「リアルとはなにか。嘘っぽいホントじゃなく、事実の裏を描くことのコワサを意識し、プロが見ても恥



大森南朋氏

宇崎竜童氏

ずかしくない《失われた時間》をつくり出すことを考えていました(訓覇)と。また、演出の大友は「銀行やファンドの会議室など、密室で進む会議の本音で絵にならない。ダーティーなヒーロー像に隠れた人間性が刻まれた『必殺仕掛人』のようなタッチで、うごめく人間性を意識しました。

大半が手持ちカメラで下から、あるいは俯瞰する。ななめに投げ出される映像もあり、一つとして固定映像は無い。不思議な視後感が、考えてみるとそれがごく自然なのだ。なぜなら不安定な二つの手持ちカメラを持つ人間は、無意識裡に即時に時空間を編集し、認識し、再構成している。スタジオ内のメインカメラによる固定化された現実とは、じつは存在していない!

「ハゲタカ」は安定しきった虚構のカメラポジションの全否定から成り立っている、リアル追求のために。ゲストたちの一見とりとめのない裏話をつなぎ合わせると、このドラマがもつ映像上の核心に触れた思いがした。

「経済はドラマにならない」定説を覆した、ある意味でバルザックが紡いだ膨大なコメディ・ユーメーヌ・ド・ソシエテ(社会化された人間喜劇)の創出を喜びたい。(松尾羊一)

第21回 名作の舞台裏

ずっとあなたが好きだった

日時・2008年8月30日(土) 午後1時半～4時半

場所・横浜情文ホール

主催・放送人の会・放送番組センター

ゲスト・賀来千香子、佐野史郎、野際陽子(以上出演)、
貴島誠一郎(制作)

司会・堀川とんこう(放送人の会)

エリート銀行員と幸せな結婚をしたはずだったが、夫はマザコン、息子を猫可愛がりする姑とは不仲。ほっと・冬彦の数々の奇行…最終回視聴率34、1%のヒット作

ここがよか! (博多屋台情報)

ゴールデン街衰退で東京サブカルチャーは減じたが、横町文化、屋台文化が今なお隆運を極めているのが博多。フォーラムが終了する夜はベッドに直行せずそれぞれ夜な夜な《フォーラム番外編二次会》を開いては…大きく分けて長浜地区、天神地区があり、中州から順に「日銀前」「郵便局前」「親孝通り」に限りましょう。飲み食い観光客目当てのポックリ屋台(様子で分かります)以外は2000円であり、シメの博多ラーメンは平均500円以下の安さ。

仲よくなった韓・中の方々、または地元局の仲間たちとそれぞれに出掛けては。ホテルですから24時間門限はありません。(ま)

第九回放送人句会

平成二十年七月十六日(水) 於：麦屋

出席：伊藤視郎、荻野慶人、小池勝次郎、新村もとを、橋本きよし、堀川とんこう、松尾馬笑、山県ほん太、西川阿舟 不在投句：田澤風車
兼題：汗、泳ぎ、台本

台本を顔に昼寝の女優かな 阿舟(◎視、◎馬、と、ぼ)
 徽の香や古き台本書庫の隅 阿舟(◎慶)
 洞爺湖に台本妖し夏の霧 慶人(◎勝、◎き)
 ロケ炎暑今日は二人を殺しける とんこう(◎も、◎ぼ、き、馬)
 若き母めがけ泳ぎし須磨はるか 慶人(◎と、き、ぼ)
 上潮のゆるやかに来て立泳ぎ きよし(◎舟、視、と、ぼ)
 バレリーナうつすらとヒゲ汗ばみて もとを(視、ぼ)
 遠泳の沖行く赤き帽子かな ほん太(視、慶)
 汗ばめる乳房冷たし青嵐 とんこう(視、勝、も)
 沖泳ぎゐて浜あまりにも遠し 阿舟(視)
 はぐれ蚊や本読み今し 酣たけなほに ほん太(視、も、き、舟)
 滝壺の日暮れて女泳ぎ去り 視郎 (慶、ぼ)
 蓮沼に河童の泳ぎありしかな 勝次郎 (慶)
 勝名乗り受けて嬉しき玉の汗 ほん太 (慶、勝)
 夕立や台本ほんを頭に逃げまどふ 馬笑(慶、と、舟)
 緑陰や台本尻にロケ弁当 もとを (慶、舟)

野いちごや少年の日の川泳ぎ とんこう(勝)
 名作と呼ばれ台本紙魚一つ ほん太(勝、舟)
 蝉しぐれ坂二三段泳ぐ喜寿 慶人(勝、き、と)

戯れて泳ぐ女に川静か とんこう(勝)
 六方を踏みし弁慶玉の汗 勝次郎(も)
 遠泳の白帽の列瀬戸を過ぐ 視郎(も)

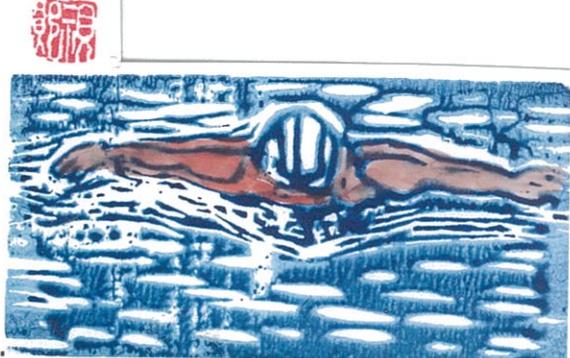
シナリオに女優の掛香残りけり 勝次郎(も、と)
 浴衣花逢魔ヶ刻に紅く咲く きよし(も、と)

老いの手に重なるやうな泳ぎ皺 馬笑(き)
 トンネルを抜けるやシナリオになき虹 もとを(き)

台本に「犬猫見ず」とある炎暑 視郎(馬)
 台本の厚さ確かめビールにし 視郎(馬)

あの頃の汗台本の遠いシミ とんこう(馬)
 余生日々汗かく事も無く過ぎて 風車(馬)
 一斉に本読みですか燕の子 ほん太(馬、舟)

遙けくも泳ぎ来しかなマスの海 馬笑(ぼ)
 風車(舟)



北京五輪 競泳に想う 視郎こと伊藤雅浩 作

次回放送人句会

9月10日(水) 午後6時半～
 於…麦屋(投句Fax 03・3586・0056)
 兼題…夜長、新米、受付(秋の季語を入れて)

会員計報

野田昌宏さん 6月6日没 74歳

フジテレビ時代は「ひらけ！ポンキッキ」など。後に日本テレワーク創立に参加。むしろSF界の重鎮として「宇宙活劇」の映像分野のパイオニアとして活躍。放送人の会創立当初、設立メンバーとなり協力して戴いた。

山本恵三さん 6月17日没 65歳

中部日本放送出身の職人肌のドラマ演出家。東芝日曜劇場の単発、とくに『キッズ・ウォーズ』(TBS系の昼ドラマ枠)は異色ホームドラマとして話題を呼ぶ。フリー以後は『幽婚』(作 市川森一 98年度芸術祭賞)『旅の途中で』(作 山田太一)などがある。

編集後記

◆「天津市で日韓中フォーラムがあったんだって？」とか「札幌で《名作の舞台裏》を公開したの？」と、事後になって会報の特集で知った会員がいて、言外に「知ってれば参加したのに」と残念がっていた。もちろん会報のカコミでは事前予告はしましたが、反省として事務处理的にすましたうらみがないでもない。というわけで会報消夏号は《in福岡特集》としました◆今回は日本側の担当で運営など村上雅通さんはじめ九州在住の放送人たちのご尽力もあり、また福岡ではお世話になることも多いはず◆3国間の交流はもちろんだが、この際、九州の放送人たちとローカル放送の現状、デジタル化への対応、番組企画の動向など、放送現場の皆さんと日韓中ならぬ《東・九》交流も兼ねて談論風発を期待したい。皆さん、うち揃って福岡行に参加してみたいかがでしょうか。(編集部)